

2007 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日の間に 当科において肺腺がんに対して手術を受けられた方へ

—「充実型 (solid type) および部分充実型 (part-solid type) の肺腺癌における、 充実性成分の免疫組織学的特徴と予後に関する検討」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学呼吸器外科学	講師	最相 晋輔
研究分担者	川崎医科大学呼吸器外科学	教授	中田 昌男
	川崎医科大学呼吸器外科学	准教授	清水 克彦
	川崎医科大学呼吸器外科学	講師	黒崎 毅史
	川崎医科大学呼吸器外科学	大学院生	野島 雄史

1. 研究の概要

現在、肺がんの組織型で最も多いのが腺がん、一般には「肺腺がん」といいます。肺腺がんは CT 画像で特徴的な形態を示しますが、その CT 画像の特徴により悪性度や予後が異なります。また、それら CT 画像の特徴は病理学的特徴と関連性があることが報告されています。今回の研究では、肺腺がんの手術を受けられた方を対象として、その CT 画像や病理学的特徴などと予後との関連性を検討します。その結果から肺腺がんの治療改善につなげるための研究です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2007 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院呼吸器外科において、肺腺がんに対して手術を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2022 年 3 月 31 日

3) 研究方法

2007 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日の間に当院において肺腺がんに対して手術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに 112 名を選び、年齢、性別、喫煙の有無、術前画像データ、顕微鏡検査のデータ（病理データ）、術後の生存などについて分析を行います。

4) 使用する試料・情報の種類

診療録からの情報：

年齢、性別、喫煙歴、CT や PET-CT などの画像情報、切除した肺がんの病理データ、術後の生存 等
試料：手術で摘出した肺がん組織（パラフィン包埋ブロック）

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学呼吸器外科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年8月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 呼吸器外科

氏名：最相 晋輔

電話：086-462-1111 内線 44323（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1124

E-mail：s.saisho@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。